

平成19年度 第3回志度高校学校会議

2008.2.6

日時 平成20年2月6日(水) 18:00~20:20 (於 志度高校研修室)

出席者

生徒 松村毬那(会長)、六車絵里・穴吹恵実(副会長)
造田美沙・藤岡彩・佐藤雅哉(2年代表理事) 宮房由依・川田千緩・東直輝(1年代表理事)
保護者 原野幸記(会長) 野崎緑・木村昌枝(副会長)、西村政高・谷寿美・國方美江(保護者代表)
教職員 穴吹忠義(校長)、天野徹・山本恵三(教頭)、八木康彦(事務部長)、田中純一(教務主任)、檜垣太郎・荻野尚令(生徒指導部)、
高崎雅人(研究企画部)、谷畑祐二(特別活動部)、近藤敬二(生徒指導)
事務局 木村香歩(生徒)、石井敬子(保護者)、溝淵正起・山崎藍子・小笠原圭一(教職員)
がざーん- 生徒 9名 保護者 2名 教職員 5名
傍 聴

議事録内容報告

(1) 学校長挨拶

今日は夜遅く、寒い中ありがとうございます。今年度最後の学校会議です。今の3年生が1年生のときから取り組んでいる。3年目ということで、集大成の回になると思います。どうぞ、噛み合った議論をお願いいたします。NHKさんのテレビ2月28日に変更になりました。柳澤先生著編の本が発売になります。ご紹介をしておきます。

(2) 代表委員自己紹介

(3) 議長選出 溝淵正起(事務局教職員)が議長として選出される。

(4) 議事

【授業アンケートについて】

教職員からの回答

生徒からの提案1

授業アンケートを開示してほしい。今教科での検討会の前に、授業アンケートをお互いに見合って欲しい。

職員からの回答1

授業アンケートの開示については可能である。ただし、個人が特定できるような氏名等については伏せることになる。

活用については、現在のところ、全教科統一の活用方法は定めていない。教科での検討会の前に、教科内で授業アンケートを事前に回覧する等、各教科毎に必要なに応じて利用する。

授業アンケート結果に関する回答実施結果について

前回の学校会議で100%アンケート回答します。とお約束したが、守られていない。回答できていない理由の一つは、アンケートの中身に特に回答する必要が無いと思ったので、しなかったという理由が多かった。回答する必要がないということを説明するべきであったと思う。

生徒からの要望

前回の学校会議で、授業アンケートに改善要望を改善してくれなかったり、回答もなかったりする現状があるという問題について提案したところ、教職員からは回答やコメントをしてもらうという返事をもらいました。そこで、2学期末の授業アンケートに関して、回答コメントがされたかどうかを調査しました。結果は、以下のとおりです。

教科ごとによる回答率の上下の差が激しいことが分かります。ある教科では、回答率が高く、生徒の意見をまとめプリントを配布してもらう、黒板の字が大きくなりみやすくなったなど、授業の改善を積極的に取り組んでくれる教科もあります。それに比べて回答率が低く、改善される様子もない教科もありました。

生徒はアンケートの内容や意見があった人数の詳細を知りたいと思っています。ほかの人がどのような意見を持っているのか知ることで、授業アンケートに対しての意識も高まるし、授業について話すきっかけにもなると思います。回答率の高い教科も低い教科も、私たち生徒の意見を反映できるように改善をお願いします。

質疑応答

教職員：回答の返し方でほとんどがコメントを話していたが、プリントのほうがいいのか？プリントがいいのか？コメントがいいのか？

生徒：プリントのほうが、回答が理解しやすい。コメントでも生徒の意見は聞けるので、回答をしてもらえるようにしてほしい。

教職員：記名と無記名はどうなったのか？

生徒：まだ全校生徒に聞いていないので、まだどちらか分からない。記名にも無記名にもできるようなアンケートにできないかという意見が出ている。

教職員：今のところ記名でいいのか？

生徒：生徒全員にアンケートをとらないとわからない。

議長：来年度以降、記名、無記名について考えていく必要がある。教員からのアンケートの回答率が100%になって、アンケートがうまく活用されてきたら、次の議題として考えてもいいのかと思う。

教職員：回答のときの教職員の会議についての意見を言わせてほしい。ある先生は、直接生徒と会話する方法はいいのではないかと。生徒会がアンケートをとったらどうかという意見もあった。教職員側は要望も聞くし、改善もするが、生徒の皆さんがまじめにもっと授業に取り組んでほしい。

議長：回答のほうを必ず返すとうことで、教職員の意思統一をお願いします。

【考査期間中の部活動のあり方及びテスト範囲の発表についての提案】

教職員からの回答

生徒からの提案2

試験発表日に範囲をプリントにまとめて配布して欲しい。

職員からの回答2

中学校までは、担任がテスト範囲をまとめてプリントを配布してくれていたかも知れないが、高校生となれば、自分たちで調べてまとめるのが当然だと考える。大部分のクラスで科目の係りを決めているので、その係りの生徒が授業担当の先生に聞きに行ってもらいたい。ただし、試験発表直前の科目については、授業中に発表することもある。

生徒からの不満のあった、試験発表が過ぎているのに範囲を教えてくれない件については、今後、そのようなことが無いようにする。次回からは無いと思う。

生徒からの手案3

テスト期間中（テストがある日）の部活動を完全禁止にしてほしい。（ただし、大会を2週間以内に控えている部は届出を出して練習できる。）

職員からの回答3

テスト勉強のために部活動を完全禁止にしてほしいとのことであるが、まずは普段の授業や学習に、より真剣に取り組むべきである。また、2時間程度の練習ならテスト勉強に支障があるとは思えない。

部活動の立場からすると、3日間練習がないと元にもどすのに、1週間あまりかかり、部の成績にも影響する。部員の理解のもとテスト期間中に練習をしている部もあり、各部の事情にあわせて活動するには現行の内規が適当であると考えている。現行の内規については守っていく。

現行内容

中間、期末考査の時間割発表後は原則として練習を禁止する。ただし、「特別練習許可願」に事情を具して校長に申し出た場合は、2時間程度の練習については許される。なお、中間、期末考査で欠点を抱えている者に関しては、顧問の責任のもと、学習に専念させるよう考慮する。

質疑応答

生徒：試験発表は発表までに範囲を教えてください。約束をお願いします。

教職員：約束します。

議長：部活動についてはどうですか？

生徒：現行のルールを守っていただければと思います。

教職員：ということは、今のルールを教職員が守れていないということか？

生徒：それは分からないが、欠点を抱えている生徒が勉強できるようにしてほしい。

教職員：各部の顧問でお聞きした。欠点を取った生徒をどうしているか？を聞いた。欠点を取った生徒は次の試験の発表日から部活にこさせない。試験中は勉強に専念させている。と聞いている。試合が直前直後にある場合、有力選手が欠点を持っている場合は全く部活動に参加させないということは部活としてなりたたないので、活動に参加させているが、きちんと勉強をする時間を与えている。

生徒：欠点が出た人が部活動をしているという話をきいているが、どうですか？

教職員：欠点をとったから、部活動にくるな！という指導は反対である。部活動をがんばりたいという気持ちで志度高校に入ってきている生徒にとっては部活動をしないというのは、逆効果の指導になると考えている。

議長：もう一度、生徒のみなさんは持ち帰り考えてきてください。

【携帯電話の校内持込みに関する提案（生徒）】

生徒からの提案

登下校時の安全 別紙「不審者出没件数に関する資料」参照

最近、不審者がとても多くなってきています。もしも不審者に襲われた場合、携帯電話を持っているとすぐに、連絡をとることができます。しかし、携帯電話を持っていないと連絡をすることができません。また、登下校中に事故にあったような時にも、携帯電話があればすぐに親や学校、警察などに連絡ができます。何か重大な事件が起き、被害にあったら携帯電話を持っていたらと悔やんでも遅いのです。

親との連絡

部活動で下校が遅くなって、迎えに来て欲しい時にすぐに連絡をとることができます。電話をかけて、つながらなかった場合、メールを入れることもできます。また、近くの中学校と家を往復する中学生時代とは違い、高校は家から遠い場合もあり、行動範囲も広がりますし、帰宅時間も遅くなります。連絡をとるために携帯電話を持っていた方が安心だという保護者の声も多いようです。

公衆電話の減少 別紙資料「公衆電話の減少に関する資料」参照

現在、公衆電話が減少してきています。ほとんどの人が携帯電話を持っていること前提で、公衆電話の台数が年々減ってきています。その証拠に、ここ10年で3分の1にまで減ってきているのが現状です。緊急の連絡をしたくても、公衆電話が少ないので探すのがとても大変です。学校や駅などの分かりやすい場所には公衆電話が設置されていますが、電話がかけられたとしても奇異な目で見られたり、中傷されたりすることが少なくありません。

携帯電話は高校生の必需品 別紙資料「アンケート結果」参照

今の時代、携帯電話を常に持っている人が多く、それが当たり前になってきています。さらに、小学生からお年寄りまで携帯電話を持ち、使っている姿をよく見かけます。このように、幅広い年齢層から必要とされている携帯電話は、私たちにとっても必要なものなのです。私たちは携帯電話を誰かと連絡をとるだけでなく、財布・ゲーム・小説・防犯ブザー・地図・時刻表・音楽・写真・時計・TVなど、いろいろなことに使っています。学校内で使うのはいいけどとありますが、使用マナーや自転車に乗りながらの使用など危険な行為をしないように心がければ、校外では自由に使ってもいいのではないのでしょうか。それについてまで校則で規制される必要は無いと思います。私たちは緊急時にはもちろんのことですが、その他様々なことについても携帯電話を使用したいのです。

使用ルール

- ・校内では電源を切り、各自で保管する。
- ・携帯電話本体やストラップが他人の目に触れないように保管する。
- ・定期考査などのテストの時は身につけない。(荷物と一緒に置いておく。)

ルールに違反した場合の罰則について

罰則は設けるべきだと思いますが、まだ生徒で十分に議論出来ていないため詳細な規則は示せません。今回の学校会議での議論をふまえ、持ち込み許可の見込みがたった時点で、三者で相談し、罰則について考えていきたいと思います。

7割を超える生徒が携帯電話を無許可で校内に持ち込んでいるという現状は、確かに良い状況とはいえません。しかし、携帯電話を学校に持ってきてはいけないというのは私達にとって正直、厳しいものがあります。ここでもう一度きちんとルールを整備し、そのルールを守るために生徒も努力し、先生と保護者にも協力してもらう事によって、より良い状態になると考えています。このような理由から、携帯電話の校内持ち込み許可について提案します。

質疑応答

教職員：携帯電話の持込について、先生方のアンケート調査をしました。アンケート調査の結果をいいます。

基本的な考え方、A・・・校内の持ち込みは許可しない。12名 B・・・基本認める(建設的な意見)10名 C・・・保留の状態 10名
認めないと言う意見の中には、持込みを許可すると、授業中に使用する生徒が増える、志度高校はよくなることはない。携帯電話を持ち込むことで志度高校はよくなることあるのだろうか？H17年度にも一度提案し、生徒は取り下げているということだが、そのときと今とでどういうところが変わったのか？

生徒：変わったかどうかは分からないが、困っている生徒がいるのが現状なので、使用ルールをしっかりと決めて、授業中に使用しないということを守ってもらいたい。

教職員：前回のことから話をしようと思う。携帯電話にテレビがついていること。前回提案を引っ込めた理由は、アンケートを取ったら、隠れてもっている生徒がたくさんいることがわかった。ルールを守ることができないのに、自分たちが決めたルールを守ることができないであろうと考えて取り下げた経緯がある。

生徒：ほかの校則については多くの人を守っている。携帯電話については70%以上の人違反をしてまでも持ってきている現状がルールが現状とあっていないと考える。

教職員：下がれば下がったで、ルールを守れない人がでる。持ってくるのを認めたら、今度は使用しない、ということが破られるのではないかと意見がある。

生徒：目に触れないというルールをつくらうとしているので、開いていた時点で使用していると判断して、先生が取り締まったらいい。

教職員：絶対に、校内では目に触れないということで、目に触れたら使用していると判断していいのか？

生徒：はい。

教職員：罰則は書いてはいないが、どうなのか？

教職員：見えたら何がいけないのか？という生徒の意見が出てくる。持ってきているのが何が悪いのか？という生徒は絶対に出てくるはず。

生徒：校外で必要であると考えて、校内では必要ないと考えているので、校内は使用禁止。

教職員：携帯電話を持ち込むと志度高校はどうよく変わるのか？ということについては、生徒のみなさんは答えることはできないと思う。緊急の連絡があれば、学校に保護者の人からかかってくる。必要ないのではないだろうか。皆さんの考えでは、携帯電話はとても必要だからという理由なのではないか。

生徒：帰りのときに、自転車パンクをして困った、電車の中で不審者にあつたときに、

保護者：携帯電話は時代に合わせて便利という意見はある。それをうまく使っているかどうか？必要な部分が本当に少ない。必要じゃないときに、使用しているのが現状ではないか。本当に、ルールが守れるのか？今までの、かばん、靴が守られていない。一人が使っていると、一人、二人と増えていくのではないのか。今、持ってきているのを、やめて、私たちはきちんと守れる！！というぐらいのことを言ってほしい。

議長：保護者・教職員も必要性の部分はとても少ないと考えている。生徒はどう思うか？

生徒：学校内で、持ち込む必要はないと考えている。学校内では使用禁止というルールを設け、校外では使用したい。

生徒：親との帰りの連絡ですが、公衆電話を利用しているが、部活動で帰りが遅くなったときに、電車の時間にぎりぎりになる。公衆電話を利用しているとかけることができずに電車に乗ってしまい、最寄りの駅で待つということもある。公衆電話を利用しているときに、周りの素行の悪いかんじの悪い人に、中傷され、かけることができずに電車にのりこも。不審者がいて、そういうときに、怖いときに連絡できなくて、襲われそうになったということもあるときいた。

議長：携帯電話は必需品なんですか？

生徒：高校生だけが、必需品だけではないと思う。大人も必需品だと思う。

教職員：保護者のほうは連絡を取るという意見はでていないが、どうですか？

保護者：連絡等で持たせたいという保護者は多いと思う。持たせることで、悪い影響がでることを懸念する。部活動で遅くなる生徒が困っているのであれば、一つの方法として遅くなる生徒だけ許可する方法もある。

生徒：携帯電話は連絡をとるのが目的。それに、財布、ゲーム、などなどがついている。一番必要としているのは連絡手段である。

部活動をしている人と、していない人とで区別するのは個人としてはあまり・・・。生徒全員で取り組みたい。

生徒：保護者が携帯電話を買い与えなければ、こういう問題は出てこないの、心苦しいが・・・。帰るときの連絡手段はあったほうがいいのかなと思うが、なくてもいいと思う。部活動だけ認めるか認めないは、生徒会長が言ったように、学校生徒全員として取り組むことがしたいという考え方も分かる。生徒からのアプローチがあるべきだと思う。

生徒：今から携帯電話を持ち込むなということを取り締まるのは難しいと思う。

議長：どうしてですか？7割の違反者を減らしていくことは生徒会としてはできないという意見ですか？

教職員：違反者を減らすのは教職員側。持ち物検査をすることはできない。持っていないかのごとく対応していたが、7割の生徒が持っていると判断して対応していく。一番考えられるのは、やはり授業のことである。今、ゲーム機を持ってきていて、授業中に使用している生徒もいる。持ち込み許可になったら、悪い影響があるのではないかと、やはり思う。携帯が見えたら、罰則というのは、道理が通らない。道理が通らないルールは守られないということがある。ルールについては三者で考えていくようにしたいと思う。授業をきちんとしたい。生徒の皆さんにも協力してもらって、授業が大事だということが前提。

議長：本音で答えてほしい。持込が許可になったとしたら、今よりも悪くなると思うか？現状と変わらないと思うか？

生徒：今よりはなくなると思う。

議長：どうして？

生徒：今は、もって来てはいけないということになっているが、使用していても先生方によって対処が違う。罰則が無い。今より現状は悪くはないと思う。

生徒：現状は変わらないと思う。

議長：授業中は使っているの？使っている現状が変わらないのか？

生徒：個人的な意見ですが、持込みがOKになるからといって、はどめがきかなくなることはないと思う。

教職員：今より悪化することはないということは、今より良くなることはないということである。今まで靴、かばんなどの校則を変えてきた。最近の志度高校生の服装が悪くなったという地域の人意見もある。現状と変わらないのではないのか。という意見では説得力がない。ここに来ている人は、適正に使うという人ばかりだと思うが、ルールを守れない人もいるのではないのか？真面目な人は真面目に取り組むが、意思の弱い人は携帯電話をもてあそんで、勉強がおろそかになってしまう。志度高校の一部がよくなるのを願っていない。学校全体がよくなるのだという説得力のある意見があれば、納得させてほしい。

議長：学校全体がよくなることになるのか？

生徒：今は持ち込み禁止だが、今考えているルールが決してゆいと思っはいいない。学校が良くなるという学校は、私たちは「生徒」だと考えている。生徒が安全に登下校できることになるのなら、学校はよくなると思う。

教職員：携帯電話を持っているからといって、不審者よけにはならない。襲われた後に連絡するということだと思う。携帯電話をもっているから安心と考える、その考えのほう怖い。携帯電話を持つことによって、具体的にどうい安全確保ができるのか？親の連絡は確かにメリットはある。しかし、学校全体、先生側からはその逆のデメリットのほう心配される。今、生徒によびかけをしているが、継続性をもてほしい。かばんや靴が自由化されてきているが、ここにいない生徒は、自由の権利をとった！と勘違いしている生徒もいるのでは。入学式に、新1年生の前で生徒会が話すという啓発活動もやってほしい。

生徒：高校は、集団で帰ることがあまりない。遠いところから来ていて、一人になることもある。

服装については、行き届いていない部分があるのは生徒会として反省している。生徒は生徒でできることをして、先生は先生でできることをして、親は親でできることをしてほしい。一緒に罰則のルールを考えて取り締まっていきたいと思う。

議長：ルールについては、後の部分でも出てくるので、後の部分で話し合っしてほしい。

教職員：今回は回答ではないので、いろいろな意見を言わせてもらった。急がずにゆっくりとやっていきたい。先生方にもいろいろな意見があるので、これから意見を出していきたい。

教職員：原点的には、校内では使わないということが一番。その辺を考えてもらいたい。

議長：生徒側は速く進めたい、通常の学校会議のルールは、来年の学校会議で回答ということだが。

教職員：年度末なので、急ぐことはできないことはない。なるべく早く回答したい。

議長：なるべく早く回答をもらい、次回の学校会議で話し合いをしたい。

【ロッカーの設置について】

ロッカー設置委員会より

前回の学校会議でロッカー設置が三者合意になりました。そこでロッカー設置検討委員会が設けられ以下のようなことを話し合いました。

- (1) ロッカーの購入の費用負担について
不足分150個(1台に12個)13台分の必要。1台当たり58,400円とすると、全体で759,200円の費用がかかる。単年度予算で購入したい。生徒一人当たり1,000円を計上すると、約420,000円が捻出できる。残りの339,200円は行事の見直しなどによって諸会費から捻出する。
- (2) 新規購入ロッカーの設置学年について
既存のロッカー(270個)と新規購入のロッカー(150個)の学年割り当てについて新規のロッカーは3年生に割り当てる。購入費用は、全学年同負担とする。卒業時までには、一度必ず新規に購入したロッカーを使用することができる。
- (3) ロッカーの修繕について

費用負担と費用の積み立て

破損した者が特定できる場合は実費を破損者が負担する。破損者が特定できない場合は、PTA会費の積み立て費用から負担せざるを得ない。将来は、ロッカーの買い換えが必要となるため、PTA会費の中でロッカー購入費用を少しずつ積み立てていく。

(4) 購入に関する今後の予定

学校会議に提案 2/6 PTA評議員会で承認 PTA総会で承認 5/17 予定 購入・設置 早くて5月末

↓ ↓

否認 一部修正 ロッカー設置検討委員会で再検討

(5) ロッカーの使用ルールの遵守について

- 【使用ルール】
- ・教科物件は、ロッカーに置いたままにせず、持ち帰る。
 - ・ロッカーの上に物を置かない。
 - ・ロッカーの上に座ったり、上がったりしない。
 - ・貴重品はロッカーに入れず、自分で管理する。
 - ・破損しないように大切に使用する。

特に教科物件のルールについては守られていない現状があり、それを「どのように守っていくのか」と問われています。それに、現在1年生のロッカー使用状況が守れていないこともロッカー設置検討委員会で指摘されました。

取り締まりについては生徒会がすべきではないと思うので、呼びかけで徹底したいと思っています。先生方からなにかいい考えがあれば教えてください。

質疑応答

議長：問題がなければ、この流れでやっていきたい。

教職員：使い方について、考えてきてくださいという提案をしたが、呼びかけだけか？

生徒：呼びかけはしています。ポスターはまだ貼っていない。ポスターと呼びかけ以外の考えが思い浮かばなかったの、先生方から何かいい考えがあれば教えてください。

教職員：この数字は、あくまでも概算であり、この数字になるとは限らないということを頭においてください。積み立ては年間10万円を考えている。

議長：ルールについての、守り方、守らせ方は今後の、ロッカー設置検討委員会で検討していければと思う。

三者でより魅力ある学校をつくるための2つの提案（保護者）

提案

より良い学習環境で生徒たちが学べるように、生徒・教職員・保護者の代表で定期的に教室の状態を点検し、教室のゴミの問題などの対策について3者で話し合う

提案理由

昨年度学校会議での教職員側からの提案にもあったように、授業はとても大切である、と私たち保護者も考えています。

今年度、PTA 評議委員会では各種の小委員会をつくり活動しています。その一つ、授業づくり委員会では、他の評議委員の協力も得て3度の授業参観を行い、全クラスの授業を参観しました。その際、教室の床にパンやお菓子の袋が散乱しているクラスがあり、これでは学習の場である教室の環境としてふさわしくない状態であると感じました。

そこで、教室の学習環境を整えるという意味で、生徒・教職員・保護者の代表で定期的に教室の状態を点検し、ゴミの問題などの対策について3者で話し合うことを提案します。

提案

教職員による登校時の校門指導の際に、生徒、保護者が登校状況を観察し3者で話し合う

提案理由

これまで学校会議では、夏服の改定、指定鞆の廃止、靴の規制緩和など、服装に関する事柄についても合意に達しました。これらの合意は、志度高校をより魅力ある学校にするという学校会議の趣旨に合致した合意であったと思っています。

しかし、今年度、校門指導に保護者が参加してみたところ、学校会議において3者で合意した靴の規定が十分には守られていませんでした。また、冬服のセーターについては、学校会議に生徒側から規制緩和の提案はあったものの、合意には至っていません。それにもかかわらず、多くの生徒が制定セーター以外のセーターを着用しているという現状がわかりました。服装全般についても、決して良好とはいえない人もいます。

学校会議で合意された事項を守っていくことは、3者の協力で志度高校をよりよい、より魅力ある学校にするという学校会議の趣旨を大切にすることでもあると思います。また、私たちは、高校生の皆さんにとって、服装を整えることは必要なことであるとも考えます。

そこで、教職員による登校時の校門指導の際に、生徒、保護者も登校の様子を見て3者で話し合うことを提案します。

保護者からの問題提起についての回答（生徒）

前回の学校会議で保護者から「服装などの乱れ」について問題提起がありました。生徒自身が「かばん」・「靴」の規制緩和について提案し、自分たちで決めたことは自分たちで守ると言って、三者合意を得ました。それにもかかわらず実際に守れている生徒が少ないという事で、登校指導を見学した保護者から現状を見直すようにと厳しく問われました。

そこで、生徒会を中心に理事会で話し合ったところ、もう一度、学校会議で提案したときの原点に戻って、自分たちの服装を見直していくべきだということになりました。その時に、生徒会が違反者を厳しく取り締まるということとはしたくないと思っていますし、できないことです。検討した結果、校則の意味とそれを守る大切さを呼びかけ、校則についての意識を高めることこそ生徒会で取り組める唯一の方法であるということになりました。その中で、お互いに注意し合っ、改善していけるような雰囲気在校内に生まれたら自然と服装違反も少なくなるのではないのでしょうか。

生徒会では1月30日より、ポスターの掲示、及び理事の呼びかけや校内放送を始めています。今後、更に色々な方法を考え、意識が高まるように継続的に呼びかけていく予定です。

ただ、校則を守るということを徹底しようとすれば、生徒会による呼びかけだけでは限界があります。保護者での家庭での指導・先生でのクラスでの指導、部活動での指導・生徒の三者で協力して校則を守れるように呼びかけられたらと思います。三者で学校を良くしていくという意味をもう一度確認したいと思います。

質疑応答

教職員：この回答はとてもいいと思う。今、放送で「服装を直しましょう！」という放送をしているが、もう少し気持ちをこめて言ってほしい。

放送だけではなく、身近な人から、口コミで気持ちの伝わる活動をしてほしい。

教職員：スカートの短い生徒を隣の生徒が注意できるのか？友達関係が悪くなるのではないかと心配する。学校会議で決まったことは、みんなで守ろうという雰囲気を作り、統計を取って前項で発表するとか、何年何組ができていないということを張り出したりしたらいいのではないかと？

生徒：本当に仲の良い友達でないといえないというのが本音。先生にも協力してほしい。

教職員：服装の指導は、教師側がやること。生徒側がすることはないと思う。ゴミの問題が出ているが、一緒に考えてほしい。考え方を伝えてほしい。

議長：3者持ち帰って、こういうことが生徒会ではないかということを考えてほしい。次回意見があれば出してほしい。

教職員：ゴミを捨てた人を、取り締まる、叱るというのではなく、教室とはこういうものだという考えでいい案があれば出してほしい。

外部評価委員会より

1 外部評価の考え方

香川県教育委員会は、「県立学校の評価のガイドライン」を定め、学校評価として、教職員の自己評価に加えて、自己評価の客観性を高め、教職員と地域住民・保護者の共通理解により学校運営を改善するために、外部評価を実施することとしている。

本校では1月30日（水）に外部評価委員会（外部評価委員6名、本校職員11名）が行われた。お知りおきください。

香川大学 柳澤良明助教授からの指導助言

2時間の充実した話し合いお疲れ様でした。学校会議の機能として改めて気づいたことを3点ほど。
合意形成の場である。答えの無いところに答えを出すことにみんなが知恵をだして答えをだしている。
公的な空間、学校全体のことを考える場。一部のためでなく、全員のために考える。社会の中で行われていること。志度高校も一つの社会。
議論の共有化。この場の雰囲気知らない人も、志度高校のメンバーである。この熱い議論をどう伝えていくのが大事。
書籍化を進めている。これまでの取り組みを全国の人、これから入ってくる後輩たちに知ってほしい。ご協力いただけたら。

学校長挨拶

遅くまでお疲れ様でした。学校会議の役割は、議論をするだけで終わりではない。3者合意したことをきちんと守っていこうという話し合いができたこと。議論だけではなく、合意したことを守っていくことが確認できた。

事務局より

次の学校会議は平成20年6月を予定しています。

以上、志度高校学校会議で協議された内容について報告します。

志度高校学校会議事務局